

社会福祉法人 順和会

陽ノ丘荘だより

社会福祉法人 順和会
特別養護老人ホーム 陽ノ丘荘



総括部長 上村 千恵

今年の夏は雨が多く、いつの間にか秋になりました。秋は少々もの寂しくもありましたが彼岸花や、コスモスなど大変美しい植物たちを見る事ができそして美味しい食べ物、まさしく実りの秋は楽しい季節でもあります。

この四月より、私は順和会陽ノ丘荘において、総括部長のお役目を仰せつかりました。ここで少しご挨拶をさせていただきます。

順和会の法人理念は「ぬくもりと安心の福祉」です。上村順一理事長はご自身の生まれ育った現南阿蘇村を守るといふ使命感のもと、医師として医療と福祉による社会貢献を目指されました。当法人は高齢者福祉施設として開設から二十四年になります。

理事長は常日頃、「思いやりと感謝の念をもって人と接し、そして仲良くすること。さらに世のため人のために働く事がなにより大事なこと」と言われております。これが理念にも繋がっております。

私はこの思いを継承し地域の医療と高齢者福祉、地域の方々の雇用等の生活を守るお手伝いを担っていきけるよう微力ながら精進して参りたいと思います。

さて私は昭和四十年代の生まれです。高度経済成長による目まぐるしい社会情勢、その後のオイルショックや第二次ベビーブームといわれた時代に生まれてきました。その後の時代背景はバブル経済、贅沢嗜好、個性重視・・・そう表現されていきました。私の生活がそうだったとは思いませんが少なくとも親世代のような生活苦を知らずに過ごしてきました。この世代は今、社会の中心となつて社会に貢献する役割と、同時に次世代を育てる大きな役割が課せられています。親業二十

年になる私も子育てや仕事など社会の中で様々な経験をさせて頂いています。その様な場面でも共通して挙げられる問題は人の問題です。親のあり方、広い意味では大人としてのあり方。社会の中で私達が本当に大事な役割が出来ているのか？という点です。実際に教育をする大人の力が不十分であることに気付かれます。残念ながら本来教えるべき事の中に、「学問とは何か？」「働くとは何か？」を理解している大人が少ない現実があります。

・学問とは単に学力を上げる為ではなく、生きる上で人として何が一番大事な事か、人間力を養う為の術を摸索し問い学ぶことが真の学問であるという事。

・働くとは、自分の為ではなく世の為人の為という社会貢献。そして人間力を磨く修行が仕事である事。

これらをまず理解し、その上で次世代へ繋げていく事が必要だと痛感します。そして人の関係において、人に感謝される喜びを知る。このような経験はどなたもあるでしょう。しかし、より人として成長するには、自分が感謝されることより、「相手に素直に感謝できる心また謙虚な自分になれる事」を心がけていきたいものです。又、人とのご縁を大切に、「良いご縁も好まないご縁も全にすることがなにより自分を豊かにしてくれるでしょう。」

「感謝」「ご縁」そして「ユーモア」私が大切にしたい事です。

これから皆様からのご指導を頂きながら、秋の深まりのように私も人として実り深めていきたいと思っております。

